

研究機関：広島大学

研究課題名	COVID-19 感染症流行前後の虐待行動や親のストレスの変化とその要因の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科健康情報学 教授 梯 正之
研究期間	令和3（2021）年 8月4日(倫理委員会承認後)～ 令和6（2024）年3月末
対象者	平成23（2011）年6月から令和3（2021）年12月の間に出生し、広島県安芸郡府中町に住民登録され、かつ期間内に1歳6か月または3歳児健康診査の対象年齢に達する子どもとその保護者の方。
意義・目的	この研究は、広島県安芸郡府中町の妊娠届出、赤ちゃん訪問、すこやか赤ちゃん広場、乳児健康相談、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査等の情報を用いて、新型コロナウイルス感染症流行前後の虐待行動や親のストレスの変化とその要因を明らかにし、継続的な子育て支援を検討するものです。この研究により、新たな子育て支援における社会資源の開発にも役立つと考えています。
方法	本研究は、安芸郡府中町子育て支援課より提供された健康診査等の情報を調査して行います。健康診査等の情報から使用する内容は、属性、妊娠届、すこやか赤ちゃん広場時の問診票、乳児健康相談時の状況、1歳6か月児・3歳児健康診査時の問診票、健診結果等の項目です。（個人を特定可能な情報は入手しないため解析にも用いません）
情報の提供機関	広島県安芸郡府中町子育て支援課 戸田一美
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合は、令和3（2021）年12月31日までに安芸郡府中町子育て支援課（082-286-3258）までお申し出ください。なお、お申し出期限中に、拒否のご連絡がなかった情報のみ本学へ提供されます。情報は個人を識別できない状態でデータ化されますので、お申し出期限後はデータの削除ができません。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5353 広島大学大学院医系科学研究科 健康情報学研究室 教授 梯 正之（研究責任者） 講師 恒松美輪子（担当者）